

クリーンエネルギー投資枠組み及び将来の気候変動課題に関する 国際開発金融機関の G8 への共同報告書 (ポイント)

Joint MDB Report to the G8 on the Implementation of the Clean Energy Investment Framework (CEIF) and Their Climate Change Agenda Going Forward

1. 背景

- 2005 年 9 月の G8 グレンイーグルスサミットでは、エネルギーアクセスの向上や気候変動に関する MDBs の活動の幅を拡大・加速するよう、MDBs の結束した取組みが促された。また、MDBs がその実施に関する報告を 2008 年 G8 サミットにおいて行うことで合意。

2. 報告書のポイント

【これまでの成果】

- ・ エネルギーアクセスの向上: 特にサブサハラアフリカと南アジアにおいて、貧困層に対する取組みを大幅に拡大。
- ・ 緩和: エネルギー効率向上及び再生可能エネルギー技術(風力発電、地熱発電等)の市場化を優先的に実施。交通分野での気候変動対策、森林破壊や土壌劣化から生じるガスの排出削減も重要な課題。炭素基金の運用を通じて、触媒となる取組みを実施。
- ・ 適応: サブサハラアフリカをはじめとする地域及び国ごとの支援を実施。分析作業は進んでいるが、MDBs による資金供与は不十分。

【今後】

- ・ MDBs 全体としての狙い: 気候変動問題を途上国自らの開発計画に組み込むことを支援。
- ・ エネルギーアクセス: 資金を誘引する環境作りの能力等が不足する途上国のために新たなアプローチを模索。
- ・ 緩和: 「低炭素戦略の作成と採用」は全ての国の主要な課題。エネルギー効率向上は今後も重点活動分野。再生可能エネルギー分野の開拓は重要。交通分野及び森林保全は優先度を上げて取り組む。
- ・ 適応: 今後はより野心的かつ一貫した政策の策定を進める。
- ・ 民間投資: 民間投資の動員が不可欠。MDBs は新たな市場の開拓や技術の試行等において重要な役割を果たすことが可能。

【MDBs の気候変動課題を支援する追加的な譲許的資金の動員】

- ・ MDBs は気候投資基金(CIF)の設立を提案。
- ・ MDBs は共通のビジョンを持ち、緊密に連携する必要。また、そのため、気候投資基金(CIF)に併せて設置される MDB 委員会を活用する。

(了)